

物価高騰のなかでの都議会 共産党都議団「都政は都民のくらし守れ」

2023年第二回都議会定例会は6月6日から21日まで行われました。深刻な物価高騰がつづくなかで補正予算の審議が行われましたが、小池都政は補正予算の財源の全額を国の交付金で編成し都の独自財源は一円も支出しませんでした。そのうえ、小池都知事は都議会開会にあたっての所信表明でも物価高騰のことにはひとこともふれませんでした。

日本共産党都議団はこうした小池知事の姿勢をきびしく批判し、都民生活を守るための数々の提起を行い、都側から貴重な答弁をひき出しました。和泉なおみ都議は都議会閉会にあたって幹事長として談話を発表しましたが、そのなかからいくつかの問題を紹介します。

この議会で日本共産党都議団が、ねばりづよく提案・要求した事項のうち一歩前進したものはつぎの諸問題です。

△学校給食費▽

給食のあるすべての都立学校の児童生徒（対象約2万人）に対する給食費補助が、一食あたり三〇円補助することになりました。



△大学などの学費負担軽減▽

都はこれまで大学の学費は国の責任、というだけでしたが、教育費の負担軽減にむけて関東地方知事会において都の提案により国への提案要望をまとめた、と初めて答弁しました。



△電気代等の高騰への支援▽

都営住宅の自治会が要望している共用部分のLED化について、都は計画の前倒しを行うと表明しました。また、入院ベッドのない診療所も電気代高騰対策の支援対象にすることとなりました。

ねばりづよく要求で一歩前進 学校給食費、大学の学費負担、電気代……

△補聴器への支援▽

難聴の早期発見と補聴器利用促進にむけた効果的施策については、予算審議での和泉都議質問で「検討する」との答弁がありましたが、現在区市町村の担当者との間で検討がすすめられていることが明らかになりました。



朝鮮学校への補助金凍結を解除せよ 和泉都議 朝鮮語で挨拶

六月二二日、朝鮮学校への補助金凍結解除をもとめる市民でつくる実行委員会が、都議会勉強会を開きました。朝鮮学校への補助金は石原都政が支給停止を行い、以来一三年間、都内に十校ある朝鮮学校だけが「私立外国人学校教育運営費補助金」が受けられないという差別がされています。

集会には元Jリーグ選手であった安英学さんが出席し「国籍のちがいで子どもたちを仲間外れにしている日本社会の問題として正してほしい」と訴えました。

集会には各会派の都議会議員が参加しましたが日本共産党都議団を代表して和泉都議が「アンニョン ハセヨ」と呼びかけ「みなさんにとっての学生はまた私たちの学生でもあります。私たちの子どもは日本社会の子どもでもありますから一緒に頑張ります」と朝鮮語で挨拶しました。

戦争準備でなく 平和の準備を 横田基地についての申し入れ

岸田政権が敵基地攻撃能力の保有などを主張して大軍拡をすすめています



申し入れをする都議団（右から3人目和泉都議）

すが、小池都知事はこれに呼応するかのよう第二回定例会の所信表明で、他国からのミサイルを打たれることを当然のこととして「備えよ常に」などを強調しました。

日本共産党都議団は、都として必要なのは戦争の準備ではなく、平和の準備こそ必要だとの立場から和泉都議を先頭に横田基地についての申し入れを

行いました。

申し入れは「事前通告なしのオスプレイパラシュート訓練がくり返されていること。米軍ヘリが基地に帰る途中に、都調布飛行場に緊急着陸をしていること」などの最近の具体的な事例をあげて、都として公式に抗議し、情報を提供させること

をもとめました。



日本共産党 都議会議員

和泉なおみの さわやかレポート

NO.82 2023.7

和泉なおみ事務所 葛飾区東立石 3-25-8
TEL 5671-0850 / FAX 5671-0851